

はまぼうの話



新和まちづくり協議会

「はまぼう推進班」事務局

天草市新和支所まちづくり推進課内

☎0969(46)2111



- 天草市新和町には、日本最大級の
- はまぼう群生地があります。
- 群生地いっぱいに咲き誇る夏の花
- はまぼうをお楽しみ下さい。

はまぼうって どんな花？

花言葉： **楽しい思い出**

はまぼうは、夏の天草の海辺で出会う黄色の美しい花が咲くアオイ科フヨウ属の落葉低木です。フヨウ、ハイビスカス、ムクゲ等もこの仲間です。

7～8月、枝先に1～2個の直径5～6cm程の大きな黄色の花をつけます。らせん状に巻いた形のつぼみから5枚の花びらが開きます。

花の中をのぞくと、花の底とめしべの先端は、濃い紅色です。この花は、朝開いて夕方には萎んでしまう一日花です。

気候が良ければ、秋の紅葉も見事です。

平成21年に、はまぼうは“天草市の花”に指定されています。

学名：**ヒビスクス・はまぼう**

(*Hibiscus hamabo* Siebold et Zucc)



**はまぼうの
仲間たち**



左上 **ムクゲ**
中 **オクラ**
左下
モミジアオイ

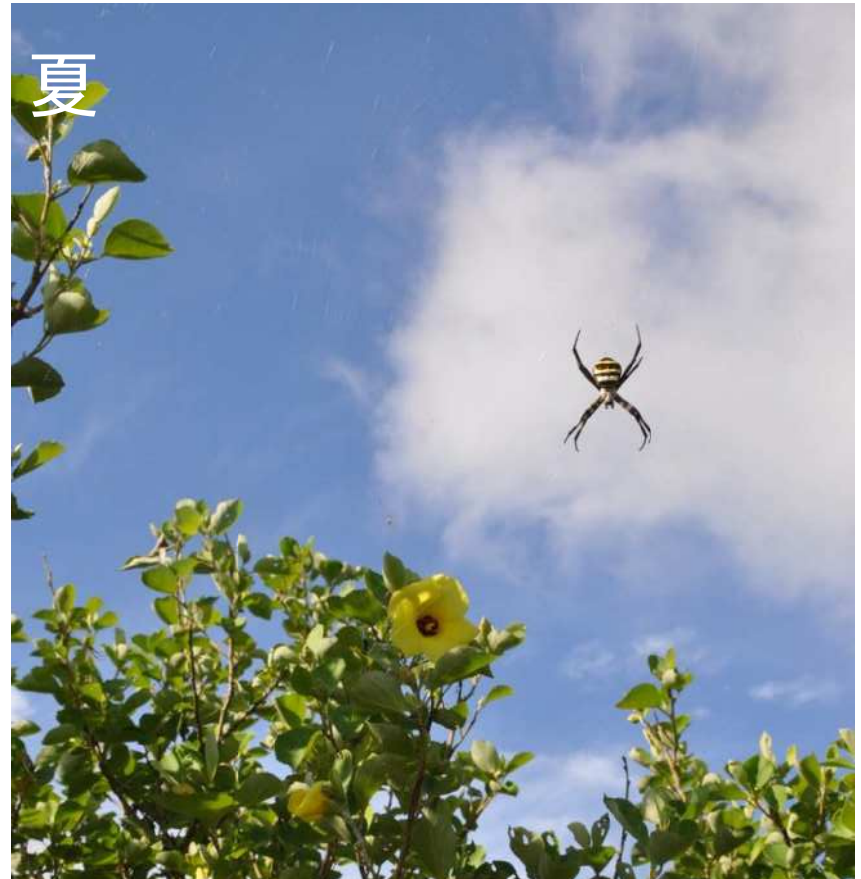
春



冬



夏



秋



天草市新和町の流合川(ながれあいがわ)と大宮地川の河口周辺のはまぼう群生地は、『河口から2kmにわたり約3ヘクタールに1万本ほどが自生しており、「日本最大級の大群落」の一つ』(中西弘樹・長崎大学名誉教授)として全国的にも注目されています。

はまぼうは様々な要因からその生息域が減少し、絶滅が危ぶまれる植物として保全活動が進められています。

天草市新和町の
はまぼう群生地にお出かけ下さい。



はまぼう・こぼれ話

はまぼうのことを漢字では「黄槿」と書きます。槿はムクゲのことです。黄色のムクゲということでしょうか。また、ハウノキの花に似ていることから、浜の朴の木「浜朴」とも書きます。

古い時代には、「はまつばき」とか「いそつばき」とか呼ばれていたこともあるようです。

平安時代に「斧の音も 尋ねざりせば はまつばき 切りける杖をいかにしらまし」という歌があるそうですから、その材を杖として使っていたことがあったのかもしれませんが。

*天草自然公園ボランティア協会の協力で作成しました。

